



かけはし

総社市立山手小学校
校長室だより 第7号
R4. 10. 14

集団として成長した修学旅行



9月29日(木), 30日(金), 6年生は修学旅行に行きました。行き先は愛媛県と香川県で、今までの卒業生が経験したことのない新しいコースです。1日目はまず今治市のタオル美術館に行き、タオルの製造方法や多種類のタオルを見学し、瀬戸内海が一望できるレストランで、タイ飯など愛媛県の名物に舌鼓を打ちました。その後、とべ動物園へ行き、広い敷地にいるたくさんの動物を見学し、砥部焼観光センターで絵付け体験に苦勞しながら、子どもたちはそれぞれ個性のある作品を完成させていました。そして、湯ノ浦温泉で一泊しました。夕食は愛媛県の名物がたくさんあり、ボリュームのあるものでした。また、ホテルには露天風呂もありました。何より、子どもたちは初めての同級生との宿泊を楽しんでいました。2日目は愛媛県の湯ノ浦温泉から香川県のレオマワールドへ行きました。アトラクションを求めて走り回ったり、買い物を楽しんだりしていました。その後、四国水族館では多くの海の生き物の様子や、水族館と一体となった瀬戸内海の風景を楽しん

でいました。そして、夕方山手小学校に帰りました。

1日目は少し小雨が降りましたが、2日ともほとんど天気は良く、過ごしやすい気候でした。そして、どの場面でも子どもたちは笑顔にあふれていました。山手小に到着前のバスの中など、いろんなところで、「この旅行が楽しかった。」という声を子どもたちから聞きました。このことからこの旅行が、子どもたちにとっていかに楽しかったか、子どもたちの笑顔にあふれていたかを物語っていると思います。また、子どもたちのすばらしい行動をたくさん見ることができました。「ありがとうございます。」「ありがとうございました。」という感謝の言葉をたくさん聞くことができたり、人の話を聞く際の真剣な目を見ることができたり、実行委員が堂々とあいさつしたりなど、この2日間で子どもたちの得たものは、大きかったと思います。以下が子どもたちの振り返りの一部です。

- ・糸がつくられているところや、機械で布を織るところを見ることができてよかったです。(タオル美術館)
- ・すべてタオルでできた絵のようなものがすごかった。(タオル美術館)
- ・ホームページで見たよりも売っているものが多かったので、何を買うか迷いました。タオルで作られた小さい人形が2,200円だったので買えませんでした。(タオル美術館)
- ・テレビなどの画像で見るとよりも、色が鮮やかでとてもきれいなだけではなく、生命力を感じました。(とべ動物園)
- ・なかなか見られない動物を見ることができた。(とべ動物園)
- ・入場料は安いのに、動物がたくさんいてびっくりした。(とべ動物園)
- ・とっても大きいオランウータンがいて、びっくりして腰が抜けてしまいました。(とべ動物園)
- ・見たことのない動物がいたり、空気を読むアシカがいていい写真が撮れたりしました。(とべ動物園)
- ・みんなていねいで上手なのにびっくりしました。(砥部焼)
- ・思ったよりかくなのが難しくて大変でした。(砥部焼)
- ・焼く前と焼いた後で色が変わるのがすごいと思った。(砥部焼)
- ・私は高い所が苦手でしたが、この旅行で高い所が楽しいことが分かりました。空中ブランコがとっても楽しかったです。(レオマワールド)
- ・とても広かったので、ガイドマップを見て進むのが大変でした。観覧者から香川県のきれいな街を見ることができて良かったです。(レオマワールド)
- ・特にジェットコースターが楽しくて何回でも乗りたかったです。(レオマワールド)
- ・イルカがとんでいてすごいと思った。(四国水族館)
- ・クラゲはずっと見ても飽きずに見れました。(四国水族館)
- ・2人部屋ですごく広かった。ごはんがすごくおいしかった。(ホテル)
- ・露天風呂が気持ち良かった。(ホテル)
- ・みかんうどんやタイ釜飯など、日頃食べられないものを食べることができてよかったです。(ホテル)
- ・ホテルが一番楽しかった。理由は友だちの良いところが見れて、友だちといられて、すべてが楽しかった。(ホテル)
- ・修学旅行をもう一度最初からやりたくなるくらい楽しかったです。(その他)
- ・この旅行によって、自分の新しい一面を発見することができた。また、友だちの良いところにたくさん気づくことができた。修学旅行前よりも少し成長できたような気がする。(その他)
- ・帰りのバスで見た夕方の瀬戸内海がとてもきれいでした。(その他)